

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.45 都市計画道路3・4・8号線整備事業			担当課	市街地整備課			予算費目名	款 08	項 03	目 01	
事業概要 及び目的	JR津田沼駅南口と広域幹線道路である国道296号線を結ぶことにより、円滑な交通動線を確保することで交通渋滞の発生を抑制し、駅周辺地区の活性化を図るため、JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業の進捗に併せ道路の一部を整備する。 用地面積：約4,300㎡のうち約290㎡ 道路延長：約320mのうち約20m			成果指標	① 事業用地取得面積	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
					② 道路整備延長	予算額(単位:円)	13,050,000	0	1,729,000	61,088,500		
				計画値	① 約290㎡	決算額(単位:円)	6,090,000	0	0			
					② 約20m	従事職員数	3	2	2			
事業の 位置づけ	章 3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 都市計画道路は、都市の骨格となる重要な基盤施設であり、道路網整備は重要施策となる。 また、JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業と併せて、事業を行うことにより、交通需要の増加へ対応し、さらに津田沼駅周辺地区の活性化が図られる。	従事延べ日数	60	30	30					
	節 3	快適な生活環境の創造		民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし							
	項 1	都市基盤の整備・充実			相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等							
	号 1	道路網整備の推進			形態は? :							

2. 進捗状況

平成21年7月10日記入					平成22年5月27日記入					平成23年4月21日記入				
年度	21年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	設計	実施計画の予定 年度終了後	設計	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	設計	実施計画の予定 年度終了後	設計	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画上 の予定	用地買収	実施計画の予定 年度終了後	地元調整	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・予備設計 ・環境調査 ・			現在、事業着手に向け 地元との調整を行って おり、平成21年度以 降も引き続き事業を推 進する。	・環境調査報告会 ・ ・			現在、事業着手に向 け地元の意見聴取を 行っており、平成22 年度以降も引き続き 事業を推進し、早期 着手を目指す。	・地元意見に対する調整及び回答 ・ ・			地元意見聴取につい ては、平成22年度を 持ち回答を行った。 今後は整備に向けた 用地買収及び詳細設 計を行う。		
継続している 事項	・意見聴取 ・ ・				・意見聴取 ・ ・				・意見の設計への反映 ・ ・					
未着手事項	・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収・工事(A=約290㎡ L=約20m)				・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収・工事(A=約290㎡ L=約20m)				・詳細設計(建物調査、測量等) ・用地買収・工事(A=約290㎡ L=約20m)					
改善案	事業着手のために地元合意形成に努める。			成果指標	事業着手のために地元合意形成を町会に依頼。 平成23年度に一部の用地買収を行うことから、税務署協議 等の準備を行う。			成果指標	地権者に接触したものの用地買収に至らなかったことか ら、買収に向けた地権者協議及び税務署協議を行う。			成果指標		
				実績値 達成率 ① 0㎡ ①0% ② 0m ②0%				実績値 達成率 ① 0㎡ ①0% ② 0m ②0%					実績値 達成率 ① 0㎡ ①0% ② 0m ②0%	

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成21年7月23日協議実施					平成22年6月1日協議実施					平成23年4月22日協議実施				
今後の方向性	成果の方向性	拡充	○						○										○
		現状維持																	
		縮小																	
		休廃止																	
			休廃止	縮小	現状維持	拡充				休廃止	縮小	現状維持	拡充						
		コストの方向性				コストの方向性				コストの方向性									
	★上記を選択した根拠 平成21年度は地元合意形成に努め、早期の着手を目指す。				★上記を選択した根拠 土地区画整理事業による道路整備に伴い、交差点部となる一部用地の買収が必要と なることから、平成23年度に用地測量を実施する。				★上記を選択した根拠 平成22年度に用地買収の出来なかった用地について、引き続き買収に向け地権者 と協議を進める。										
方向性を実現する ため実施すること (改革案)	合意形成が図れるように勉強会の立ち上げを地元町会に依頼し、地元組織の構築を 図る。				整備のための合意形成を図るため、地元町会に意見聴取を行うよう依頼した。 また、地元意見の聴取と同時に該当地権者の意向を把握する。				これまでに確認した地元の意見について、道路基本設計において反映を行っていく										
前年度改革案の 実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 特に改革案は示していない。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 引き続き合意形成に向けて地元町会と協議を重ねる。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 地元の意見を聴取する事が概ね出来た										